

## お知らせ

N E W S

発行：2024年11月

- Topics…ロボット支援下人工関節置換術の導入
- 取組案内1…小児科 ● 取組案内2…肝疾患相談室

附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.27が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

Topics

## ロボット支援下人工関節置換術の導入

変形性関節症に対する治療として、日本では、人工膝関節全置換術(TKA: Total Knee Arthroplasty)は年間9万件、人工股関節全置換術(THA: Total Hip Arthroplasty)は7万件行われています。近年、より正確な手術のため、ナビゲーションや手術支援ロボットを導入する病院が増えてきました。この度、大学病院としては、北海道・東北で初めて当院に手術支援ロボットであるMAKOシステムを導入しましたので、紹介させていただきます。このMAKOシステムでは、患者個々の解剖学的特徴に基づいた最適で精密な手術計画を立てられます。さらには、術中にインプラント設置位置や角度をリアルタイムで確認でき、計画通りの正確な手術が可能となります。

ロボット支援下THA(図1)では、人工関節の設置角度や脚長補正の正確性が飛躍的に向上します。ナビゲーション下THAでは、設置角度に計画と5度以上の誤差が生じることがあるのに対し、本手術では5度以上の誤差は皆無です。精密な術前計画・正確な術中確認および高い設置精度により、THAの最大の合併症の一つである脱臼の発生を予防することが可能となり、さらに長期成績の改善も期待されます。

TKAでは、人工関節を機能軸に垂直に設置するmechanical alignment法が長く行われてきました。長期成績は良好ですが、患者さんの約2割が満足していないと言われています。そこで、近年、患者生来の関節面を

再現することで、より自然な膝キネマティクスや軟部組織バランスを得ることを目指すkinematic alignment法が注目され、山形県では全国に先駆けて行ってきました。手術支援ロボットを導入することにより、術中に患者個々の軟部組織バランスにあわせて適切な骨切りとインプラント設置を行うfunctional alignment法が可能となりました(図2)。加えて、より正確で安全な手術が可能であり、さらなる成績向上および患者満足度の向上が期待できます。

手術適応の患者さまがおられましたら、ぜひご紹介ください。



図1. ロボット支援下THA



術前Xp

術後Xp



図2. ロボット支援下TKA



術前Xp

術後Xp



術中写真



## 取組案内 1 小児科

### 子どもの総合診療医また専門診療医として

大学病院小児科は、新生児期から思春期終わりまで劇的に成長変化する子ども達に起きる様々な疾患全てを対象としています。新生児集中治療室を併設、早産低出生体重児と外科疾患、様々な先天異常、先天性心疾患の胎児診断から成人期以降の管理、治療不応性川崎病、心筋症、不整脈、特発性肺動脈性肺高血圧症、難治性てんかん、神経・筋疾患の診断治療の他、発達障害、心理的問題にも取り組んでいます。医療的ケア児支援にも県の委託事業である医療的ケア児支援センター「にこすく」を通じて積極的に取り組んでいます。腎尿路異常、腎炎・ネフローゼ症候群等、難治性腎疾患に対する腎生検を含む精査加療、腎不全管理、先天性代謝異常症や内分泌疾患(甲状腺機能低下・亢進症、低身長、思春期早発・遅発症、糖尿病)も診療しています。白血病を含む各種小児がんや血液・免疫疾患の診断、また造血細胞移植を含む集学的治療、近年始まった先天性免疫不全、脊髄性筋萎縮症、ライソゾーム病等の新生児拡大マススクリーニング陽性例への対応も担っています。いずれの分野も世界最新の標準治療を提供し、未だ難治な疾患では、全国レベルの臨床試験に参加、新たな有効標準治療を見出せるよう取り組んでいます。一方で、難治でない疾患の初期治療、アレルギー疾患、基礎疾患の無い中等症までの感染症は、県内の各基幹総合病院で対応することで無駄の無い医療体制を築いています。

子どもで精査が必要な場合、難治性疾患が疑われる場合は、お気軽にご相談ください。遺伝学的検査も必要かつ可能な症例については実施しています。



当科所属小児科医の面々ー北日本小児科学会にてー

## 取組案内 2 肝疾患相談室

### 肝疾患に関するご相談を承っています。

当院は山形県肝疾患診療連携拠点病院として認定されており、地域の医療機関との連携を通じて、肝疾患の早期発見、診断、治療を推進しています。また、肝疾患に関する様々な啓発活動にも力を入れております。

B型肝炎およびC型肝炎の治療法は近年大きく進歩しており、C型肝炎は経口薬による治癒が可能となり、B型肝炎も経口薬でウイルスを効果的に抑制できるようになっています。しかしながら、依然として感染に気付いていない方や、適切な医療を受けていない方も少なくありません。B型肝炎やC型肝炎は、適切な検査と治療を受けることで健康を維持することが可能ですが、放置すると肝硬変や肝臓に進行するリスクがあります。そのため、定期的な肝炎検査を受け、早期に医療機関で診療・治療を開始することが非常に重要です。

当院では、肝疾患を抱える患者様や医療従事者の方々からのご相談も随時受け付けており、患者様への情報提供や治療方針に関するアドバイスも行っております。

肝疾患に関する不安やご質問がございましたら、どうぞお気軽に当院の肝疾患相談室にご相談ください。肝炎医療コーディネーターと共に、皆様の健康を全力でサポートいたします。



2024年7月 世界肝炎デーの啓発活動

#### 【電話相談の受付】

一般の方：023-628-5881

月・木曜日 13:00～16:00(祝日・年末年始を除く)

医療関係者の方：023-628-5881

月～金曜日 10:00～16:00(祝日・年末年始を除く)